

基本政策

第1の転換

後期高齢者医療制度を廃止させ、福祉・医療の充実を



第2の転換

貧困からの脱出、営業と雇用を守ろう
—生活改善密着型公共事業の推進—



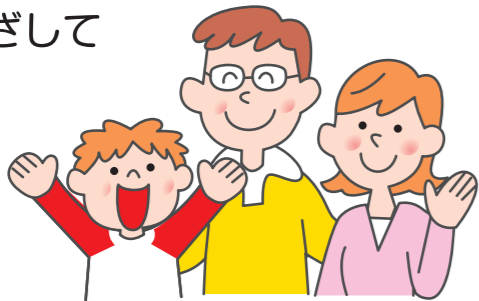
第3の転換

地球にやさしい環境を求め、地球温暖化防止とCOP10(生物多様性条約第10回締結国会議)を実効あるものに



第4の転換

子どもたちに明るい未来を、安心して生み育てられる名古屋をめざして



Go! Go! なごや

革新市政の会・ゆめ実現リーフ

みんなの願いをかさねて、
壮大な運動と共同をつくり、
名古屋から大きな変革の波を

くらしを第一に 憲法を生かす市政を

自治体の仕事は、住民のいのちと暮らしを守ることです。しかし、いまの市政は、貧困と格差拡大、福祉切り捨て、医療制度改悪などを「構造改革」の名で進めてきた国の政治のいいなりです。かつて「福祉日本」といわれた名古屋のすぐれた施策はどんどん切り捨てられてきました。

自民党が敗北した昨年の参院選や、ことし6月の沖縄県議選。全国で政治の転換への期待が高まっています。

来年4月は名古屋市長選挙です。あなたの声と行動が、市政を変えます。

憲法を精神を生かし「いのち・暮らし・平和が大切にされるまち名古屋」を、ごいっしょに実現しようではありませんか。



みんなの市政 2008年9月号

発行:革新市政の会 名古屋市北区柳原3-7-8
TEL 052-916-2148 FAX 052-916-4189
ホームページをご覧ください <http://www.n-kakusin.jp/>

いのち・暮らし・平和が大切にされるまち
つくるまい
こんな名古屋



革新市政の会の基本政策・第1次案の概要をお知らせします。

(この案は、市民のみなさんの意見、提案で、
どんどん充実・発展させていくためのものです。)

名古屋市民の
願いを実現するための

4つの転換

そのために



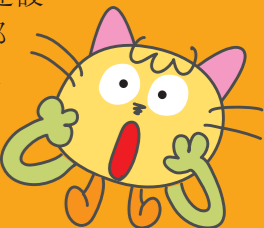
変えよう 税金の 使いみち

1 名古屋市は、2010年(開府400年)に向けて大型プロジェクトを続々と推進しようとしています。ポスト万博4大プロジェクトの総事業費は1000億円を超えます。急ぐ必要のない「本丸御殿の復元」には150億円。がん治療で保険のきかない高額な治療費のため一部の市民しか利用できない「陽子線がん治療施設」の整備270億円。企業の産業博物館づくりを行政が肩代わりをする「モノづくり文化交流拠点」200億円。東山再生プランに400億円。水需要のない「徳山ダムの導水路」建設142億円。航空需要のない中部国際空港の第2滑走路建設促進期成同盟への出資金1200万円。不要不急の「ハコモノ」行政です。

2 4つの転換を支え、市民本位の市政をめざすために、不要不急の大型事業の見直しや中止によって、財源を確保します。

不要不急の4大プロジェクトは見直しを

生活改善密着型公共事業の推進を



4つの転換 — 市政を変える中心点 —

第1の転換

後期高齢者医療制度を廃止させ、福祉・医療の充実を

- (1) [これは平成の“姥捨て山”だ] 75歳以上の人たちを対象にした後期高齢者医療制度に怒りの声が続いています。国に制度の廃止を要求します。
- (2) 名古屋市長は「愛知県後期高齢者医療広域連合」の連合長です。広域連合としての減免実施に努力します。
- (3) 後期高齢者医療制度対象の人たちにも国民健康保険のときと同じように負担を軽減するために、市独自の新たな福祉制度を設けます。
- (4) 福祉・医療・介護など社会保障を大切にするまちづくりを進めます。

第2の転換

貧困からの脱出、営業と雇用を守ろう

- (1) まじめに働いてもまともな生活ができないワーキングプアを生み出す社会は、日本の未来にとっても大問題です。解決のために、市独自でもまずできることとして、市発注の仕事をする人たちの賃金が時間給で1000円を下回らないように条例を定めます。雇用対策に取り組む市の部署を拡充します。
- (2) 大企業の一方的な単価切り下げ、大型店の進出・撤退などに加えて、燃料代や資材の高騰と、中小業者のきびしい経営環境が続いています。
全事業者の99%を占める中小企業、業者。ここが元気でこそ、市民の暮らしも元気に。「地域経済振興条例」を制定し、中小企業関連予算を大幅に増やし、支援を抜本的に強めます。

第3の転換

地球にやさしい環境を求め、地球温暖化防止とCOP10(生物多様性条約第10回締結国会議)を実効あるものに

- (1) 「地球温暖化対策条例」を策定し、2020年までのCO₂削減目標を30%と明確にします。CO₂排出量の約7割を占める大規模な工場、事業者に対して、削減を義務化する取り組みを進めます。
- (2) CO₂の総排出量が多い超高層ビル建設は、環境アセスメントによって抑制します。
- (3) 都心部への自動車流入を規制し、自転車、公共交通機関など環境にやさしい乗り物利用を促進します。
- (4) 市域面積の緑被率の向上をめざします。環境を保全し、生物多様性を守るため
- (5) にも、農業振興をはかり、農地を守ります。
- (6) 環境に配慮した住宅建設の促進をはかります。
- (7) 2010年に名古屋で開催するCOP10を、環境の一大観光イベントとせず、真に地球環境と生物多様性の保全に役立つ国際会議として位置づけ、その成功に力を入れます。COP10の開催に便乗した行き過ぎた大企業支援や、不要不急の公共事業など、税金の無駄遣いをやめます。
- (8) 環境を破壊する大規模開発を抑制し、安全な食糧、水、空気を確保します。

第4の転換

子どもたちに明るい未来を、安心して生み育てられる名古屋をめざして

- (1) 教育を継続、安定して進めるために、非常勤講師が1年限りで変わっていくのではなく、正規職員による30人学級を拡大します。
- (2) 保育園は、公立、民間を問わず、地域の子育て支援に責任を持ち、障がい児保育、延長保育や特別保育の拡充など、様々な保育ニーズに応じていけるようにします。
- (3) 学童保育所は、早急に補助単価の引き上げと助成対象学年を6年生まで拡大し、市が責任を持って施策を実施していきます。

いのち・暮らし・平和が大切にされるまち

基本政策
第一次案の紹介コーナーです。
詳しい内容はホームページをご覧ください。

<http://www.n-kakusin.jp/>

① “暮らし” 最優先の 名古屋市政を ～子どもからお年寄りまで～

- 長寿を喜びあえる市政を
- 安心できる介護保障について
- 誰もが安心して、医療が受けられる国民健康保険制度へ
- 一人ひとりの子どもが輝く市政を
- バリア・フリーで障がい者が住みよいまちを ～障がい者施策の充実を
- 青年の就労支援・働く人を大切にする市政を
- 大型店の出店規制を強化します。地元中小業者を育成支援し、地域経済を振興します



長生きしてよかった

働くことに希望が湧いてくるね



② 安全で未来につながる 市政を

- ごみ減量・リサイクル、環境先進都市名古屋へ
- 交通政策 ～道路公害をなくし、自動車優先から人間優先のまちづくりを
- 地震・災害対策
- 住宅政策 ～住居は、人権である立場からの施策をすすめます
- いのちと健康を大切に ● 食の安全、食育
- 農業振興 ● 地域コミュニティを支援
- 豊かな文化・芸術の発展を ● 憲法9条を守り、平和を発信する市政を
- 女性の地位向上に向けて 男女平等、女性の参加を促進します

名古屋は
くらしやすい
まちも
きれい



車も
少ない

地震、水害のときの備えも、地域とのつながりも大丈夫



③ 住民が主人公の 市政運営を行ないます

- 憲法、地方自治の精神を市政運営の中心に
- 自治体行政を企業のもうけにしない
- 市政窓口は住民の身近な所に
- 税金は市民の暮らし最優先に使い、大規模プロジェクトを見直します

私の税金で
まちが
いきるね

憲法が
くらしに根づく
そんな街を

